

編集後記

はじめに、お忙しい中、原稿執筆にご協力いただいた学内外の皆様には感謝申し上げます。今回初めて歯学部ニュースの編集に携わらせていただき、至らない点多かったとは思いますが、歯学部ニュースが多くの方々のご協力により作りあげられていることを改めて認識することができました。コロナ禍で歯学部関係者との対面でのやりとりも少なくなってしまった昨今、本号歯学部ニュースが少しでもお互いを知れる機会の一つとなってくればなによりです。今後も歯学部ニュースが新潟大学歯学部の内外の活性化につながる広報誌であることを願っています。

口腔病理学分野 阿部 達也

まず初めに、この度はお忙しい中、原稿執筆にご協力いただいた先生方、学生さんに感謝申し上げます。歯学部ニュースは、執筆依頼を頂き寄稿させていただいたことは何度もありましたが、依頼する側として編集に携わることで、この広報誌を作る為に多くの方が尽力していることを改めて実感しました。歯学部ニュースがこれからも、歯学部の更なる発展と活躍を報告する場として役立って欲しいと願います。微力ながら今号の歯学部ニュースの編集に携わらせて頂きまして、誠にありがとうございました。

組織再建口腔外科学分野 齋藤 大輔

この度初めて編集委員を担当させていただきました。学外出身者である私にとって、歯学部ニュースは学内の情報を知ることができるとも貴重な広報誌で、時にはバックナンバーも含めて楽しく読ませていただいております。今回編集に携わり、改めてたくさんの先生方、学生さんの協力のもと成り立っているのだと実感しました。お忙しい中で寄稿いただいた皆様に心より感謝申し上げます。今後もこの歯学部ニュースが活発な情報発信の場であることを願っております。

高度口腔機能教育研究センター
歯周診断・再建学分野 原 実生

この度はお忙しい中、原稿の執筆にご協力いただきました先生、学生の皆様はこの場をお借りして心より御礼申し上げます。今回、初めて歯学部ニュースの編集に微力ながら関わらせていただき、大変良い経験になりました。歯学部ニュースは、本学の卒業生ではない私にとって、本学のことをよく知ることができる貴重な機会であり、毎号楽しく読ませていただいております。これからも充実した内容を期待して、また次号を楽しみにしております。

微生物感染症学分野 平山 悟

歯学部ニュース139号は、コロナ第4派が到来し、医療従事者へのワクチン接種がはじまった2021年4月に、編集者一同が会することなく、メールのやり取りのみで始動しました。そして現在7月末ですが、とても順調に編集作業が進行し終わりが見えてきたので、編集後記をしたためています。

原稿依頼、入稿、校正等、殆どの作業が前倒しで進んだことは、ひとえに著者の皆様と編集委員の先生方の御尽力の賜物だと思います。新潟大学歯学部構成員の真面目さ、誠実さを感じました。ご多忙の中、ご寄稿くださった方々、編集に携わってくださった編集委員4名の先生方、編集責任の寺尾先生、そして本誌を読んでくださった皆様へ、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

包括歯科補綴学分野 長谷川 陽子